

新潟市医師会 第127回 在宅医療講座

5月12日 2021年
日(水)

午後7時15分から ※開場6時45分
(閉会：午後8時30分)

講演



「アドバンス・ケア・プランニング (ACP:人生会議)の基礎と実践」

新潟大学 大学院保健学研究科
医学部保健学科/工学部人間支援感性科学プログラム

教授 坂井 さゆり 先生

会場：オンライン開催 (参集型ではありません)

主催：一般社団法人 新潟市医師会 (担当：横田理事)

定員：先着 80名

ご参加いただく場合は、メールでお申込みください。
裏面の「申込方法」をご覧ください

入場
無料

アドバンス・ケア・プランニング (ACP) とは、自らが望む「人生最終段階における医療やケア」について、本人が、前もって考え、家族等や、医療・ケアチームと繰り返し話し合い、共有するプロセスのことです。「もしも」のときは誰にでも起きます。いのちの危機が迫る時、約7割の方が自分の望む医療・ケアを伝えられないと言われていています。また、事前指示書を書き残すだけでは、医療・ケアの満足度が変わらないとも言われています。ACPの「胆(きも)」は継続的な対話とその記録です。対話は、自分が何を大切にしているのかを語ろうとする行為から始まります。本講座では、ACPの基本を確認し、専門職としてだけでなく「我が事」としてのACPも意識しつつ、具体的な実践例も用いて、それぞれの場や立場に応じたACPIについて考えます。

この講座は在宅医療は未経験という先生がたにもお勧めの内容です。

新潟県医師会生涯教育講座認定1.0単位

カリキュラム内容：13.「医療と介護および福祉の連携」 19.「身体機能の低下」